九州運輸局メールマガジン　フォトライブラリー
第425号　令和2年1月23日（木）

現場リポート

◆「桜島火山爆発防災訓練」が行われました
～第50回総合防災訓練に参加しました～

・1月10日（金）午前9時頃、桜島が大規模噴火の前兆が高まり噴火警戒レベルが4に引き上げられ、桜島島民に対し避難準備に掛かるよう気象台からの訓練警報が発令されたという想定からスタートしました。翌11日午前5時には、地殻変動及び火山性地震の急増が観測されたため、鹿児島市は午前9時、桜島全島に避難準備・高齢者等避難開始の発令に至り、189機関約5，000人が参加した大規模な防災訓練が実施されました。
・1914年（大正3年）に起こった「大正大噴火」の教訓を忘れないため、鹿児島市主催で毎年1月に桜島で全島民が参加する「桜島火山爆発防災訓練」が行われています。令和元年度で第50回の節目を迎え避難方法を大幅に見直し、噴火前に全島民の避難が迅速・確実に終えられるようフェリーとバスを併用した避難方法を策定し検証を行いました。その結果、これまでのフェリーのみによる避難方法より約1時間短い時間での避難完了を確認しました。
・また、今回の訓練避難先に指定された鹿児島市立天保山中学校では、避難所運営訓練が行われ、各関係機関の設営ブースでは様々なデモンストレーションが行われました。

○第５０回桜島火山爆発総合防災訓練風景

訓練を知らせる道路表示（桜島町）

島民避難用の鹿児島市営バス

道路警戒を行う県警察、市職員

自家用車で避難してきた島民（共助）

残留者捜索を行う自衛隊車両

桜島フェリーターミナルの消防署員

残留者の捜索を行う自衛隊機

避難集合場所の様子①

避難集合場所の様子②

JAF、消防合同の急病人救出

急病人海上自衛隊ヘリに引き継ぎ

市営バス＋フェリーでの避難

桜島フェリー内の市営バス

避難用の桜島フェリー

○避難所の訓練

訓練用避難所の中学校正門

九地整　災害対策本部車、通信車両

避難所での運営訓練会場

会場内の避難住民

桜島は、昨年春先から噴火活動が活発で、気象庁は、過去の大噴火時点と同量のマグマの蓄積を観測していると発表しています。
　桜島以外でも近隣の阿蘇山、霧島新燃岳、三島村硫黄島、口永良部島新岳、十島村諏訪之瀬島も活発に活動しており、何時どこが噴火するか想定は出来ません。
　万一の場合、関係機関と円滑な情報提供・連携を図り対応します。